

岩根 今回は新春特別企画ということで、私たち3人が「どうなる2013年、吹田の未来」と題して話し合うことになりました。まずは総選挙の結果、安倍内閣が成立しましたが、あらかじめ小選挙区という選挙制度に問題ありと感じました。自民党は得票数を減らしながらも議席を294も獲得したのですから。磯野 比例区で200万以上の票を減らしながらの「大勝利」ですからね。自民党が支持されたわけではないが、民

主党がそれ以上にひどかった。国民は民主党に愛想をつかせ、かといって維新などの第3極も信用できず、結局は小選挙区比例代表並立制という、選挙制度の矛盾が引き起こした「大勝利」だったわけです。西谷 維新が獲得した54議席というのは、微妙な数字です。勝ったのか負けたのか？当初100議席を越えるのでは？との観測もありましたが、橋下氏が石原氏と組んでから、急速に風が止まったようです。

争点をばかして
イメージで乗り
切るのが橋下流

原発やTPPなど重要な政策で、東京と大阪であれだけ意見が違えば、底が見えたというか…。

岩根 確かに全国的にはそれほど伸びませんでした。近畿ブロック、特に大阪では維新が第一党です。

西谷 文和さん
敷氏が地道に選挙区を回ってましたからね。西谷 維新の会顧問だった井上吹田市長の「太陽光パネル疑惑」が出て、吹田市民は維新に愛想を尽かせたのでは？



市民福祉 子育て 教育 医療切り捨て
自分勝手な橋下維新流
政治はもうゴメン

出席者

新さん	磯野	千里タイムズ社長
文和さん	西谷	フリージャーナリスト
良さん	岩根	吹田自治都市研究所 研究員

西谷 何で大阪だけ人気が衰えないんですか？

磯野 そんな中で吹田は数少ない「自民の勝利区」です。渡嘉

磯野 しかし吹田も比例区では維新がトップで、復活当選した上西小百合氏も市長選挙で井上氏が獲得した票数を上回りました。井上市長の事件があっても、他政党より維新に期待したようですね。西谷 不思議なこと、自民党の「とかしきなおみ後援会」が、維新の会の「井上哲也後援会」に2011年度に1千万円も寄附しているんですよ。表の選挙戦では維新の上西氏と自民の渡嘉敷氏が激戦を繰り広げているのに、裏に回ればお金はぐちゃぐちゃ。岩根 維新の井上市長が初当選を決めた時、隣で万歳して

いたのが自民の渡嘉敷氏でした。有権者から見れば、わけが分からん状況でしょう。磯野 市民は維新に何を期待して投票したのかな？私の周りには「維新に期待したが、裏切られたわ！」と怒っている市民もおられます。比例で1位になるような情勢ではないと思ってきました。争点になるものもなかったし…。西谷 まさにその「争点になるものを作らない」のが橋下流だと思うのです。何となくのイメージで選挙を乗り越えようという…。岩根 大阪府・市のダブル選

挙の時は、大阪都構想という「争点」を押し出しました。今回は、そんなものさえなかった。西谷 大阪都構想も、いざ「どこどこ」の区が合併するのか？と具体的な質問になると、橋下氏は「それは公募の区長が決めること」と逃げます。イメージ先行で中身なし。岩根 原発や消費税、TPPなど大事な施策の是非を問うはずなのに、政党が乱立して、何かぼやけた感じでした。磯野 みんな「ふわっとした

市長と政党代表代行の2足のワラジでも平気
西谷 第3極のもう一方である未来はなぜ伸びなかったのでしょうか？

政治不信と閉塞感が
低投票に繋がり
自民の圧勝に

磯野 候補者の大半が民主党の離脱組。滋賀県の嘉田知事を党首に担ぎ、斬新さを出したものの、「未来は小沢党そのもの」と見抜かれてしまったの

